

● 活動目的

ボランティア室は、独立行政法人国立病院機構岡山医療センターの基本方針に基づいて、病ボランティアにより患者さんが安らげる療養環境作りと地域社会に寄与することを目的として、平成 17 年に設立されました。

病院ボランティアは、病院の医師、看護師、その他の職員と協力して、患者さんに寄り添い、患者さんがもつ不安を軽くすることによって安心して治療を受けることができるよう、自発的に無償で、病院を利用する人のためにサービスを提供する人で、ボランティアの皆様には専門職ではなくてもできる仕事のお手伝いを行っていただいております。

● 活動状況

令和 7 年度における岡山医療センターのボランティア登録者数は 11 名(外来 5 名、読み聞かせ 1 名、裁縫 4 名、保育補助 1 名)。

新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら外来ボランティアと裁縫ボランティアは活動を継続。読み聞かせボランティアは、コロナ禍明けに活動を再開している。

【個別の活動状況】

- ・ 外来・・・病院と患者さんのニーズに合わせた活動
- ・ 裁縫・・・小児病棟からの作成依頼にて活動。病棟看護師の協力があり、患者さん個人に合わせた医療ケアグッズを作成、点滴パジャマ製作、術衣やスクラブのお直し
新たに、一般病棟からの作成依頼へも対応
- ・ 読み聞かせ・・・月 2 回絵本の読み聞かせ
- ・ 保育士補助・・・小児病棟病室での遊び相手、小児科外来の壁面装飾、折り紙作成

【募集状況】

長期休暇中の学生からの問い合わせは数件あった。今後もホームページ、院内掲示、広報誌等により広く募集を行っていく。

- ・ 外来ボランティアは、1 日 2 名必要ですが、現在はほぼ 1 日 1 名の活動となっているため、引き続き募集を行っていきたい。
- ・ 裁縫ボランティアは「裁縫」と明確に募集したため、2 週間ほどで 3 名の新規登録があった。現在、小児科医師の依頼で点滴パジャマを製作している。
- ・ 小児病棟では、月 2 回の絵本の読み聞かせを年齢に応じて実施している。
- ・ 保育士補助として、小児病棟病室のベッドサイドでの遊び相手の活動、小児科外来での壁面装飾、折り紙作成のお手伝いをしている。